

まっぴー



まっぴー

町コミュニティバス「まっぴー」

10月1日から、町コミュニティバスの運行形態が変わり、往復利用がしやすくなります。

岡防環境課交通防犯係 ☎54・6601



今年9月末で、町コミュニティバスの本格運行開始から、5年が経過することから、昨年度、コミバスのアンケート調査を実施しました。

調査の結果から、『幕別線』では、「市街地中心部で用事を済ませると帰りのバスの時間が合わない」「帰りの停留所が市街地中心部から遠い」との意見が多くありました。また、『札内線』では、「一周が長い」「帰りの便が合わない」「増便して欲しい」との意見が多くありました。以上のことから、『幕別線』は、「市街地中心部での往復利

用ができるようなダイヤ改正を、『札内線』は、「移動時の乗車時間が短くなり、かつ、往復利用ができるようにバスを一台増やし、順周りと逆周りの同時運行」を行うこととしました。より便利になったコミュニティバスを、是非利用してみてください。

期間限定！コミバス運賃無料！

平成30年10月1日(月)から平成30年10月12日(金)までの間、より便利になったコミバスを利用していただくため、運賃を無料とします。この機会に乗車して、便利な利用方法を見つけてください。

左表の利用例は、ほんの一例です。運賃無料期間に、ご自分にあった乗り方を見つけてください。



▼実際の利用例

【幕別線】

○旭町・幸町から、午前中、市街地に用事を済ませに行く場合。

行・帰	便	No.	停留所名	時刻	乗・降
行	2便	8	旭町	9時59分	乗車
		9	幸町	10時00分	乗車
		2	フクハラ幕別店前	10時04分	降車
市街地で用事を済ませる 40分間					
帰	3便	2	フクハラ幕別店前	10時46分	乗車
		8	旭町	10時56分	降車
		9	幸町	10時57分	降車

○寿町・南町・緑町平和通以南・宝町から、午後、市街地に用事を済ませに行く場合。

行・帰	便	No.	停留所名	時刻	乗・降
行	4便	14	寿町	14時49分	乗車
		19	南町	14時53分	乗車
		24	あけぼの公園前	14時57分	乗車
		33	宝町	15時04分	乗車
		2	フクハラ幕別店前	15時06分	降車
市街地で用事を済ませる 40分間					
帰	5便	2	フクハラ幕別店前	15時46分	乗車
		14	寿町	15時49分	降車
		19	南町	15時53分	降車
		24	あけぼの公園前	15時57分	降車
		33	宝町	16時04分	降車

【札内線】

○停留所No.1～40の人が、午前中、「41 老人福祉センター」に行く場合

行・帰	便	No.	停留所名	時刻	乗・降
行	順周り 2便	41	老人福祉センター	9時55分	降車
入浴等 約90分間					
帰	逆周り 3便	41	老人福祉センター	11時31分	乗車

○停留所No.42～63の人が、午後、「41 老人福祉センター」に行く場合

行・帰	便	No.	停留所名	時刻	乗・降
行	逆周り 4便	41	老人福祉センター	14時16分	降車
入浴等 約90分間					
帰	順周り 5便	41	老人福祉センター	16時01分	乗車

※札内線は時刻表で、目的地よりも上の地点に住んでいる場合は、行きは順回り(緑色)、帰りは逆周り(オレンジ)に、目的地より、下の地点に住んでいる場合は、行きは逆周り(オレンジ)、帰りは順回り(緑色)に乗車すると、往復利用に便利です。

幕別町地域防災訓練を実施します

「幕別町地域防災訓練」は、平成27年度から平成31年度までの5年間で、市街地を中心とした指定避難所ごとの対象公区で実施する防災訓練です。

今年度の9月は23日に「白人小学校」と「札内東中学校」を指定避難所とする公区を対象に、2か所同時に避難訓練を行います。また、30日には「忠類小学校」、「忠類中学校」、「忠類コミュニティセンター」を指定避難所とする公区を対象に、3か所同時に避難訓練を行います

一人ひとりが地域の特性を知り、災害に備えるために何をしておけばよいか、災害の時はどう行動すればいいかを学びます。いざという時は、「自分や家族の身は自分たちで守る」、「近隣住民や地域の人たちが互いに協力し、助け合える」地域を目指し、防災力を強化しましょう。

防災訓練の参加対象公区にお住まいの方は、ぜひ訓練に参加しましょう。

防災に関する展示・体験コーナーもあります

水消火器を使った消火訓練や救急救命講習の体験、防災備蓄品の展示などを行います。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

なお、防災訓練対象公区の方は、訓練終了後の見学・体験となります。

◆とき・ところ

- ① 9月23日⑩ 午前10時～午前11時30分
青葉町近隣センター駐車場
- ② 9月30日⑩ 午前10時～午前11時30分
忠類小学校駐車場

※各施設の敷地内には駐車できませんのでご了承ください。

☎防災環境課防災危機管理係(☎54-6601)

◆とき

- ① 9月23日⑩ 午前9時～午前11時30分(予定)
- ② 9月30日⑩ 午前9時～午前11時30分(予定)

◆ところ

- ①各公区の指定緊急避難場所、白人小学校、札内東中学校
- ②各公区の指定緊急避難場所、忠類小学校、忠類中学校、忠類コミュニティセンター

◆対象公区

- ①【白人小学校】青葉町1、青葉町2、千住1、千住2、千住東
- 【札内東中学校】中央町3、春日町、東春日町
- ②【忠類小学校】忠類幸町、忠類本町、忠類白銀町、忠類錦町(1班・2班)
- 【忠類中学校】忠類栄町
- 【忠類コミセン】忠類錦町(3班・4班)

◆訓練内容

震度7を想定し、指定緊急避難場所への避難、公区が計画した避難訓練計画に基づいた安否確認と要支援者対策、町と公区の連携による避難所の運営訓練を行います。

☎悪天候などにより訓練を中止する場合は当日午前7時に判断し、公区を通じて参加者へ連絡します。当日は、午前9時に訓練開始の合図として、札内地域ではサイレンを鳴らします。また、忠類地域では防災行政無線の放送を行います。訓練の参加対象外の方にも、サイレン音や無線の放送が届く可能性がありますので、ご注意ください。

☎防災環境課防災危機管理係(☎54-6601)

東日本大震災の話を聞く会

東日本大震災から7年が過ぎました。現在でも、被災地では仮設住宅での厳しい被災生活を送っている被災者が大勢います。この災害を風化させることの無いよう、地域防災に関する講演会が次のとおり開催されます。

◆とき 9月30日⑩ 午後1時30分～午後3時30分

◆ところ 札内コミュニティプラザ集会室

- ◆内容 ●第1部 「講演」(午後1時30分～午後2時30分)
テーマ:『悲しみの中から生き抜く力を がむしゃらに生きて7年』
講師:菅原文子 氏(宮城県気仙沼市 酒店経営)
- 第2部 「ハザードマップを知ろう」(午後2時40分～午後3時10分)
テーマ:①家屋の浸水・土砂災害ハザードマップの見方
テーマ:②いざ避難、避難所の運営と避難の時期
講師:幕別町住民福祉部防災環境課 課長 寺田 治
- 第3部 「質疑応答」(午後3時10分～午後3時30分)

☎幕別町民で参加される方は「幕別町防災のしおり」をご持参ください。

主催/住みやすいまちづくりを考える会、共催/幕別町、後援/顕勝寺

☎住みやすいまちづくりを考える会 代表 高橋勉(☎56-1703)

平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)ふるさと寄附の運用状況を公表します

幕別町に思いを寄せる方々の気持ちをまちづくりに反映し、個性豊かで魅力あるふるさとづくりを進めるため、「幕別町ふるさと寄附」を募集しています。

町では、平成27年12月から、幕別町外の方からの寄附に対して、町の特産品などを贈呈しています。昨年度は、平成28年度を大幅に上回る多くの皆様から寄附をいただき、ありがとうございました。

全国に「幕別町の魅力」を発信している「幕別町ふるさと寄附」を町に縁のある方や町外にお住まいのご親戚、ご友人にぜひご紹介ください。

◆指定された事業と寄附件数、寄附金額

指定された事業	寄附件数	寄附金額
パークゴルフの振興に関する事業	910件	10,705,000円
ナウマン象記念館の整備に関する事業	749件	8,320,001円
未来のオリンピック選手を育てる事業	1,766件	21,430,000円
頑張る農業を応援する事業	6,500件	75,348,106円
未来を担う子どもたちを守り育てる事業	11,124件	126,403,500円
地域で支え合う健康・福祉に関する事業	1,589件	19,347,000円
地球にやさしい行動を推進する事業	946件	10,710,500円
定住・移住を促進する事業	704件	7,832,000円
使途の指定なし	12,988件	147,939,101円
合計	37,286件	428,035,208円

◆寄附をいただいた方の名前と寄附金額

(記念品贈呈事業の対象外の方のみ)

お名前	寄附金額
久保田 良幸 様	100,000円
幕別町パークゴルフ協会 様	***円
一般社団法人北海道LPガス 様	***円
細川 節子 様	1,000,000円
邊見 秀明 様	100,000円
舞と歌チャリティの会 様	70,000円
匿名希望 4件	1,900,000円

※名前、寄附金額は、公表について同意をいただいた方のみ公表しています。名前の公表についてのみ同意をいただいた場合は、金額を***で表示しています。

◆まちづくり基金の主な使い道

平成28年度までに積み立てた基金を活用し、以下の事業を行いました。

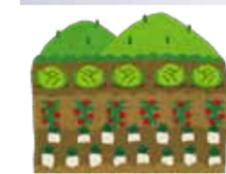


○マイホーム応援事業・・・20,000,000円
町内全域を対象に、新築住宅の建設または中古住宅の購入に要する費用の一部に対して、補助を行いました。

○修学旅行費支援事業・・・7,210,000円
町内中学校に在籍している中学校3年生の修学旅行に要する費用の一部に対して、補助を行いました。

○緊急農用地排水改善対策事業・・・25,000,000円
台風被害に係る小規模暗渠等の整備に要する費用の一部に対して、補助を行いました。

☎【寄附金全般に関すること】総務課総務係(☎54-6608)
【記念品贈呈事業に関すること】商工観光課観光係(☎54-6606)



◆寄附の運用状況

平成29年度の寄附はまちづくり基金へ平成30年3月31日に積み立てられ、指定された事業ごとに管理をしております。

